

出幅移動桁A

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 本製品はJテラスF・R・Hタイプ、オフテラスの3～6尺に設定したものです。他の製品には取付けられませんのでご注意ください。
- 本取付説明書ではJテラスFタイプをFタイプ、JテラスRタイプをRタイプ、JテラスHタイプをHタイプ、オフテラスをオフテラスと表記します。
- テラスは簡易型屋根です。物置・遊び場或いは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。

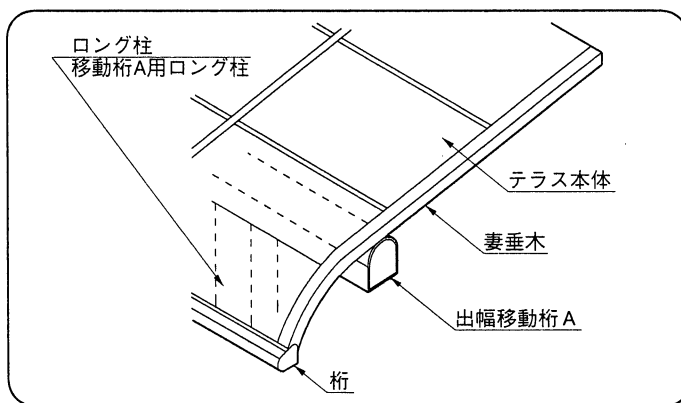
<施工の前に>

- ①正しく施工、組付けをしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ②設置場所の確認
 - ①施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
 - ②強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道等の施工は避けてください。
 - ③施工場所の気象条件(風雪等)に合った商品かどうか確認してください。
- ③梱包明細で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- ④組立て、施工途中では
 - ①ボルト、ビスは弊社純正商品の規定本数を確実に締付け固定してください。
 - ②取付説明書の順序通り組付けてください。製品の強度等、性能を低下させる場合があります。
 - ③アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。
- ⑤基礎工事について
 - ①基礎寸法は、取付説明書の通りの寸法としてください。地盤の種類によっては、倒壊の危険性が発生します。
 - ②基礎コンクリートには、塩分を含む砂、および塩素系のモルタル混和剤や急結剤を使用しないでください。
- ⑥製品の改造は絶対に行わないでください。
- ⑦施工完了後は
 - ①ボルト、ビス等に緩みがないか確認してください。
 - ②施工中の汚れは取り除き、誤ってつけたキズは、補修塗料をしてください。
- ⑧施工終了後、取付説明書は、施主様にお渡しください。

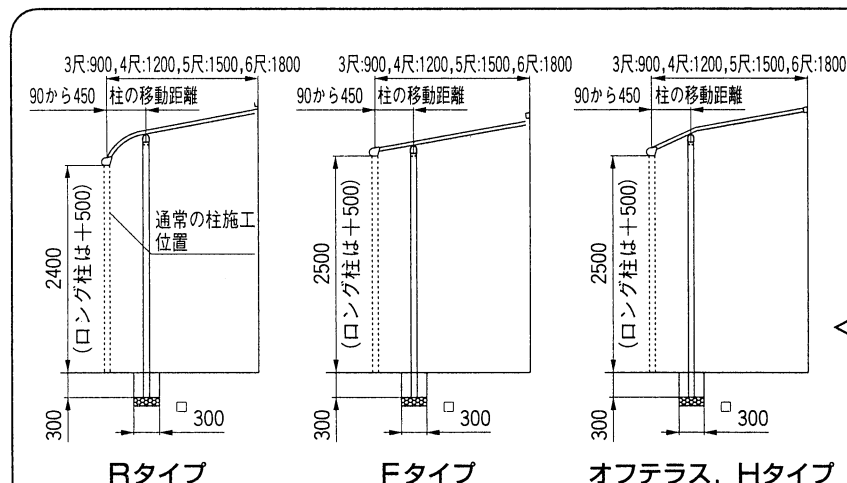
■梱包明細書

名 称	員 数				
	基 本			連 棟	
	1.0間	1.5間	2.0間	1.5間	2.0間
出幅移動桁A	1	1	1	1	1
出幅移動桁A用スリーブ	—	—	—	1	1
垂木・桁組付金具	2	4	4	4	4
垂木ライナー	3	4	5	3	4
移動桁Aキャップ	2	2	2	—	—
垂木ライナー取付ネジφ4×25ピンスネジ	4	6	8	6	8
垂木・桁組付金具組付ネジφ4×13	4	8	8	8	8
移動桁Aキャップ取付ネジピンスネジ	4	4	4	—	—
スリーブ取付ネジ	—	—	—	4	4
取付説明書	1	1	1	—	—

1.各部の名称



2.基本寸法図



- ①使用する柱は、テラスの桁が標準の施工位置の場合(桁下2400, もしくは2500)はロング柱を、ロング柱の桁位置で施工する場合(桁下2900, もしくは3000)は移動桁用ロング柱を使用してください。
- ②柱の切断寸法は次ページのグラフをご覧ください。

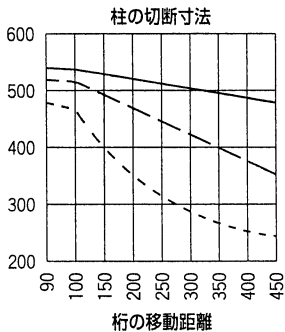
<注 意>

- ロング柱のレベルシールは、関係ありませんのでご注意ください。柱の施工位置等は基本の取説をご覧ください。

2.つづき

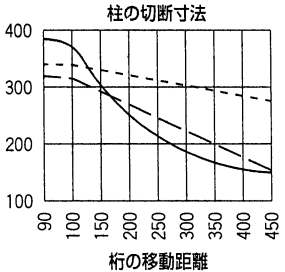
標準の施工位置の柱の切断寸法

柱の移動距離	柱の切断寸法		
	Fタイプ	Rタイプ	Hタイプ オフテラス
90	540	479	519
100	538	462	514
150	530	393	491
200	521	345	468
250	512	308	444
300	503	281	421
350	495	261	398
400	486	248	374
450	477	239	352



ロング柱施工位置での柱の切断寸法

桁の移動距離	柱の切断寸法		
	Fタイプ	Rタイプ	Hタイプ オフテラス
90	339	393	319
100	337	376	314
150	328	303	291
200	319	252	267
250	311	215	244
300	302	187	220
350	293	166	197
400	284	152	173
450	275	143	150



—— Fタイプ --- オフテラス, Hタイプ ---- Rタイプ

- ① 左上のグラフは、テラスの桁位置をFタイプ、Hタイプ、オフテラスは2500mm、Rタイプは2400mmで施工した場合のロング柱の切断寸法です。桁の高さを変える場合は、合わせて切断寸法も変えてください。
- ② 右上のグラフは、テラスの桁位置をFタイプ、Hタイプ、オフテラスは3000mm、Rタイプは2900mmで施工した場合の出幅移動桁A用ロング柱の切断寸法です。桁の高さを変える場合は、合わせて切断寸法も変えてください。
- ③ 柱を切断する場合も、必ずアンカー棒を施工してください。

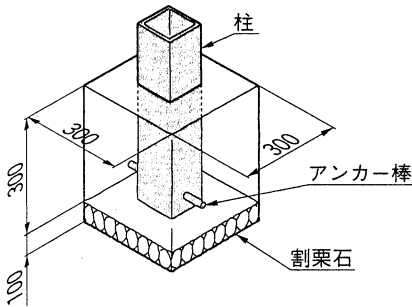
3.規格表

名 称		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	3.5間	4.0間	4.5間	5.0間	5.5間	6.0間	6.5間	7.0間
ロング柱 (出幅移動桁A用ロング柱)	1本入	—	—	—	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3
	2本入	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
桁セット	1.0間	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1.5間	—	1	—	—	1	—	—	1	1	—	—	—	—
	2.0間	—	—	1	—	—	1	1	—	—	1	1	1	1
連棟用桁セット	1.5間	—	—	—	1	1	1	—	2	1	1	—	3	2
	2.0間	—	—	—	—	—	—	1	—	1	1	2	—	1
垂木セット	2本入	—	1	1	2	2	3	3	4	4	5	5	6	6
妻垂木セット	2本入	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—
	3本入	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1
屋根材セット	2枚入	1	—	2	1	—	2	1	—	2	1	—	2	1
	3枚入	—	1	—	1	2	1	2	3	2	3	4	3	4
出幅移動桁A	1.0間	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1.5間	—	1	—	—	1	—	—	1	1	—	—	—	—
	2.0間	—	—	1	—	—	1	1	—	—	1	1	1	1
連桁用 出幅移動桁A	1.5間	—	—	—	1	1	1	—	2	1	1	—	3	2
	2.0間	—	—	—	—	—	—	1	—	1	1	2	—	1

<注 意>

- 連棟する場合は基本のテラス同様、左側を基本桁とし、左側へ連棟してください。連棟部の柱は桁連棟部に設置してください。

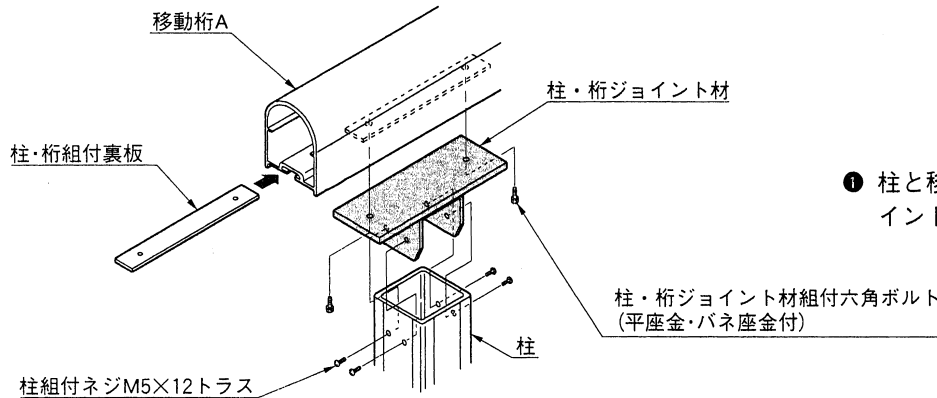
4.基礎施工



- ① ロング柱、出幅移動桁A用ロング柱を任意の位置に施工してください。
- ② コンクリート施工は骨組完了後に行ない硬化後屋根材を組込んでください。
- ③ アンカー棒は必ず施工してください。

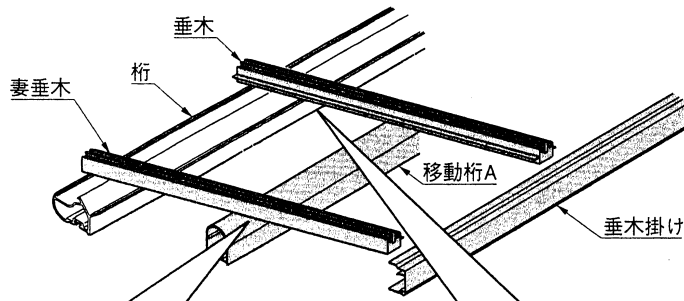
5.垂木掛けの取付け ➡ 別冊のテラス本体の取付説明書をご覧ください。

6. 柱と移動桁の組付け



- ① 柱と移動桁Aを左図のように柱・桁ジョイント材で組付けてください。

7. 移動桁Aと垂木・妻垂木の組付け

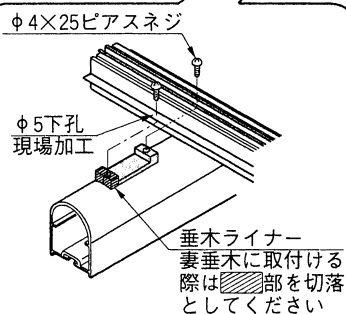


- ① 基本の取説に従って垂木掛に垂木を取付けてください。このとき、出幅移動桁に垂木を仮置きしてください。

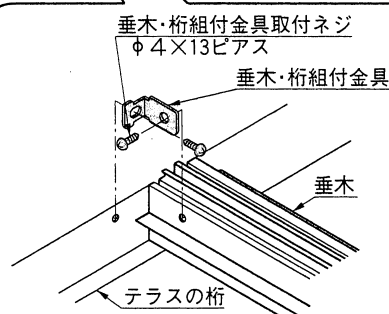
- ② 垂木・妻垂木の下面に垂木ライナーを挿入し、垂木・妻垂木と移動桁をφ4×25ピースネジで固定してください。妻垂木に取付ける垂木ライナーは、端部をカットして取付けてください。(A図参照)

- ③ 基本の取説に従ってテラスの桁を垂木に取付けてください。

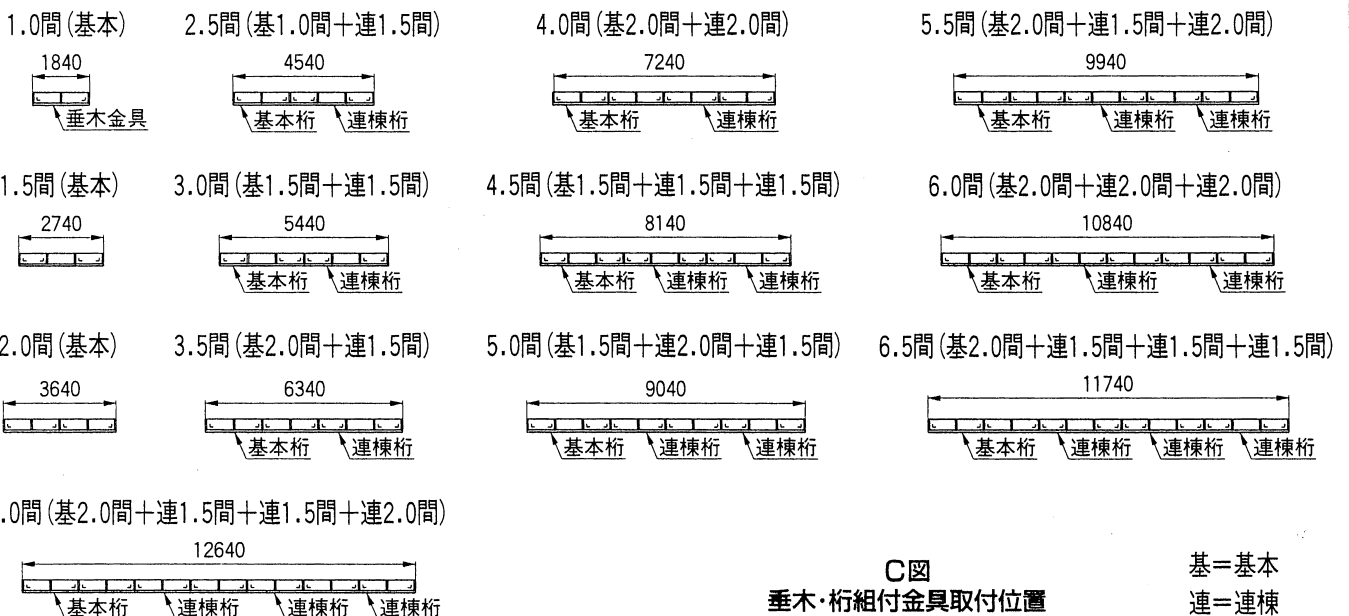
- ④ 垂木・桁組付金具を使って、垂木と桁を固定してください。(B図参照) 金具の取付位置は下図をご参照ください。(C図参照)



A図
移動桁Aと垂木の組付け

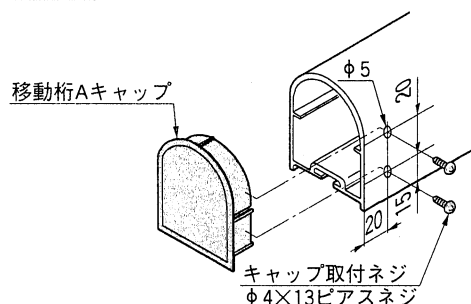


B図
桁と垂木の組付け



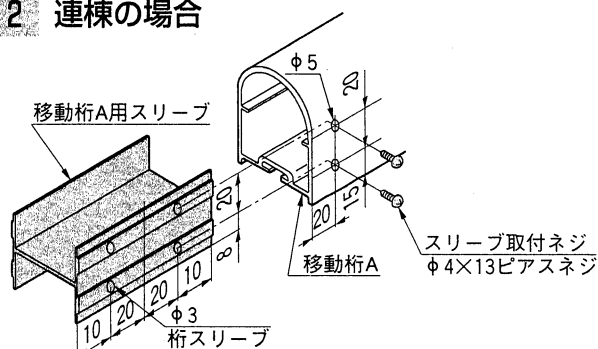
8. 移動桁Aキャップおよび連棟の取付け

8-1 移動桁Aキャップの取付け



- ① 移動桁の端部に上図の孔加工を行なってください。
- ② 移動桁Aキャップを挿入し、キャップ取付ネジで固定してください。

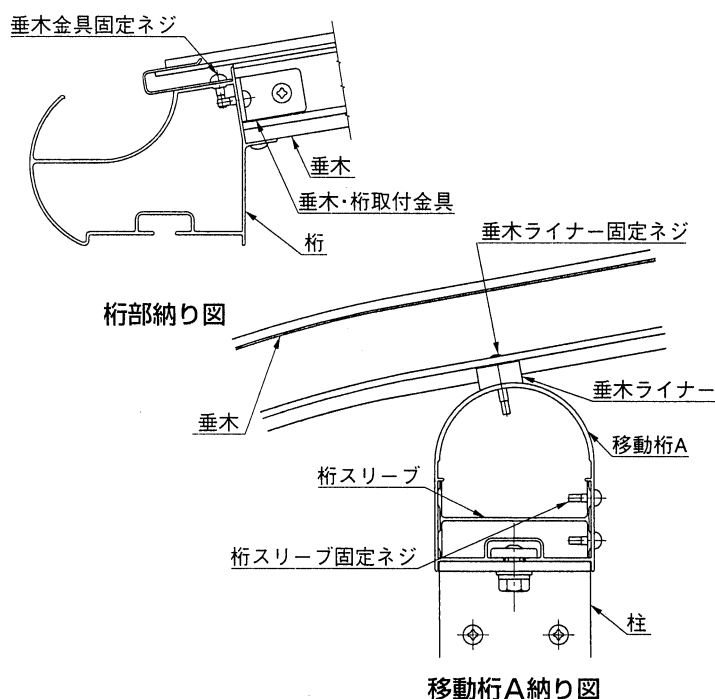
8-2 連棟の場合



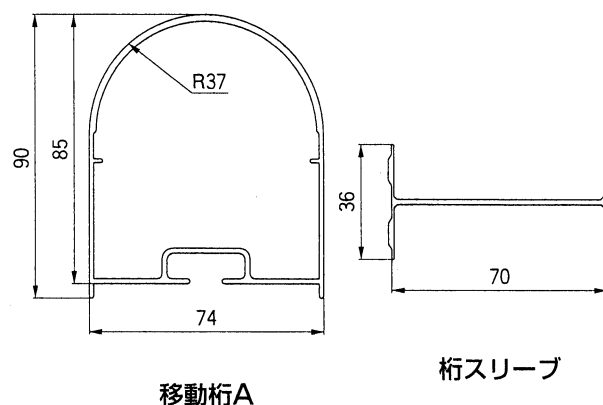
- ① 移動桁の端部に上図の孔加工を行なってください。
- ② 移動桁A用スリーブにも上図のように孔加工を行なってください。
- ③ スリーブ取付ネジで固定してください。

以降の組付けは別冊のテラスの取説をご覧ください。

部材納り図



部材断面図



工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- みだりに改造、変更はしないでください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- 御使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- 月に一度程度のお手入れで美しさが長く保てます。汚れの軽い場合は水にぬらした柔らかいぞうきんで拭き取ってください。また汚れのひどい場合はうすめた中性洗剤で拭き取ったのち洗剤が残らないように拭き取ってください。

取説コード

E064

97-10A
98-10B